

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について
記

【受付番号】 研究課題名	【06-017】 自衛隊中央病院のデータウェアハウスを用いた救急診療に関する症例レジストリーの作成
研究の意義・目的	<p>当院は、世田谷区に位置する2次救急病院であるとともに、自衛隊の最終後送病院です。したがって、当院における救急診療は、自衛隊衛生とともに地域医療を支える重要な部門です。</p> <p>救急診療は病院としての機能が反映されやすい部門であり、現状の分析を適切な時期に行うことは今後起こりうる緊急事態のときに役立ちます。特に、近年はコロナウイルス感染症で日本全体の医療システムが大きく変更を強いられておりましたが、2024年からはコロナウイルス流行以前の体制に戻つつあります。</p> <p>そこで今回、救急診療体制の諸問題を細かく検討するために、病院に保管された患者さんの診療データを用いて、救急診療に関するデータベースを作成することにしました。</p> <p>このデータベースを作成することで、救急に関する分析が細かくできるようになり、今後の救急診療体制を改善させることに役立ちます。</p>
実施期間(西暦)	研究承認日～2030年3月31日
研究の対象	2019年4月1日から2025年3月31日までの期間に当院の救急に関連した診療を受けたことのある患者さん
研究の方法	<p>▶研究デザイン 単施設後ろ向き観察研究</p> <p>▶データについて 患者さんの電子診療録に入力されているデータは、一般的にデータウェアハウスと呼ばれる仕組みがあり系統的に保管されています。今回はこのデータウェアハウスに保管されていて、かつ救急診療の検討に必要なと思われる記録を抽出してデータベースを作成します。</p> <p>データウェアハウスには電子カルテ上でオーダーされるあらゆる情報が記録されています。登録する際には、個人情報を匿名化します。</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究では、データ出力時点で個人情報は匿名化されるため、個人を特定することはできません。データについては外部のインターネットに接続されないPCに保管されます。管理責任者は救急科 部長です。また、データを外部機関へ提供することはありません。</p> <p>また、本データベースについては、当院が実施している関連研究(今後本データを用いることを前提に立案される研究を含む)でも使用することがあります。この二次使用も含めて、データの利用を希望されない場合は、下記連絡先に、データ利用拒否の旨をご連絡ください。ただし、本データベースが作成される予定である、2024年12月31日までにご連絡ください。それ以後については、事実上の利用拒否ができません</p> <p>※二次利用を予定している研究について 受付番号05-022、戦傷医療対処能力向上にむけての外傷・集中治療領域に関する自衛隊医官の意義と救急外来研修環境についての実態調査</p>
研究機関代表者	自衛隊中央病院長
問い合わせ先	<p>自衛隊中央病院 所 属:救急科 担 当:医師 寺山毅郎 TEL:03-3411-0151(代表)内線:6245</p>